

2022年4月13日

## 「桑園社宅用地の開発計画」と「賃貸マンションの新規ブランド展開」について

弊社桑園社宅用地を活用した開発について、現在検討中ではありますが、計画の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

また、今般、賃貸マンションの多棟化展開を目指し、新規ブランドを立ち上げることとしましたので、併せてお知らせいたします。

### 1 桑園社宅用地の開発計画について

本用地は桑園駅に近く商業施設や温浴施設等が立ち並ぶ住環境の整ったエリアにあり、今般、住居と商業施設の複合開発を行うことで、地域の更なる賑わい創出と利便性向上を目指します。



<位置図>

	A街区	B街区	C街区
所在	札幌市中央区北 11 条西 18 丁目		同 北 12 条西 18 丁目
敷地面積	約 4,000 m <sup>2</sup> 現) 社宅 2 棟	約 5,300 m <sup>2</sup> 現) 社宅 4 棟	約 2,300 m <sup>2</sup> 現) 社宅 1 棟
共同事業者	ミサワホーム北海道(株)		北海道ジイ・アル都市開発(株)
開発用途	分譲マンション (100 戸前後)	賃貸マンション (50 戸前後) 商業施設 (ジイ・アル生鮮市場他)	賃貸マンション (75 戸前後)
延床面積・規模等(予定)	約 9,500 m <sup>2</sup> RC 造 11F 建(2 棟)	約 9,900 m <sup>2</sup> RC 造 10F 建(1 棟)	約 5,800 m <sup>2</sup> RC 造 11F 建(2 棟)
スケジュール(予定)	撤去着手：2024 年度春 開発着手：2025 年度秋 開業：2027 年度以降		撤去着手：2022 年度春 開発着手：2022 年度秋 開業：2023 年度末



<開発イメージ(右から A 街区・B 街区)>



<開発イメージ(C 街区)>

## 2 賃貸マンションの新規ブランド展開について

### (1) コンセプト

- ① 「鉄道の利便性」と「魅力ある生活環境」をブランド価値とした賃貸マンションをシリーズ展開します
- ② JR 駅周辺で賃貸マンションを展開することにより、沿線価値の維持・向上とまちづくりに貢献します
- ③ ミドルクラスの品質と価格帯で、住む方に寄り添ったゆとりのある居住空間を提供します

### (2) 名称

『Junord (ジュノール)』 ※商標出願中  
 → 「J (JR北海道グループ)」 +  
 「u (utile = 仏語で“便利な”“有益な”)」 +  
 「nord (仏語で“北”)」



### (3) オリジナルサービス

JRをご利用の入居者に対して本マンションブランドオリジナルのサービスを検討中です

### (4) 当面の展開予定

新規ブランドによる賃貸マンション 1 棟目は、2023 年春に開業予定の極楽湯さっぽろ手稲店跡となります。その後は、桑園社宅用地 (C 街区)、極楽湯さっぽろ弥生店跡、桑園社宅用地 (B 街区) の順で展開を予定しています

#### 【参考】当社のマンション開発について

当社は札幌圏を中心に、分譲マンション 4 棟、賃貸マンション 5 棟、サービス付高齢者向け住宅 6 棟を展開又は計画しております。

